

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

芹が谷地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

- ・ 港南区の北部に位置し、戸塚区と南区に隣接した坂のある地形です。芹が谷地域ケアプラザ包括エリア内の総人口は約17300人、そのうちの65歳以上は約5040人であり、総人口は減り、65歳以上の人口は増えています。高齢化率36.1%の地域もあり、担当地域の平均は29.8%と港南区平均より上回っています。また、65歳以上の世帯で夫婦のみの世帯も単独世帯も、平成17年と平成22年の5年間を比すると全地区で増加しています。
- ・ 自助・互助・共助の仕組づくりを福祉保健計画の地区別計画に沿って、地域の方々と取り組みました。「支えあいネットワーク」の意見交換の場を開催し、地域の方々が地区別計画を自分事として受け止めていただけるように地域の方と一緒に考えました。また、区社協の「住民支えあいマップ」を広め、見守り・支えあいの必要性を地域の方と課題をみつけ、取り組みを支援しました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・ 来館された方が快適に過ごしていただけるように、整理整頓を心がけ、日常清掃に力を入れて行いました。汚れやいたみは小さい内にメンテナンスを行い、大きな修繕にならないよう心がけました。
- ・ 利用される方が、快適に安全に利用していただけることを第一に考え、建物を維持管理しました。自動ドアやエレベーターなど、安全性を求められるものの管理は毎月の点検を製造会社の管理部門に依頼して、安全を保ちました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ・ 当法人は総合病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所を運営しています。6事業が連携し、法人内で効率的な運営に取り組みました。
- ・ 月2回の法人内 管理者経営会議に参加し、健全な運営と経営を行いました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情や要望は、サービスの向上につながります。職員一同で認識し、苦情・要望の出しやすい環境づくりに努めました。
- ・ ラウンジに苦情のフローチャートや前年度の苦情ケースとそれに対する取組みを掲示しました。
- ・ 意見箱はメモ用紙と筆記用具を設置して、いつでも記入し投函できるよう整えました。意見箱は苦情責任者が定期的に確認しております。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 消防署職員の指導のもと心肺蘇生法・AED操作の講習を実施し、緊急時にすべての職員が対応できるようにすすめました。
- ・ 地震や火災だけでなく、風水害、土砂崩れなど様々な災害に対するマニュアルを職員間で共有し、職員それぞれが必要な行動を取れるようにすすめました。
- ・ 特別避難場所としての目的や運営の流れなどマニュアルに沿った講習を行ない、発災時にそれぞれが行う動きを確認しました。
- ・ 出勤時や退勤時に施設内外の巡回を行い、不審物などへの対応や火災リスクの軽減を図りました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 個人情報の漏えい事故防止の為、取り扱い時には必ずダブルチェックを行い、事故防止に努めました。また、職員研修を通じて、横浜市個人情報に関する条例の確認、法人・ケアプラザの個人情報保護に関する取扱いを共有し、適切な利用と不要な取得防止に努めました。
- ・ ケアプラザ内の転倒事故等防止を目的に、室内の整理整頓に努めると共に、設備や物品の定期点検を行い、安全な環境作りに努めました。
- ・ 感染症予防及び蔓延防止の為、看護師を中心とした研修を行い、注意喚起を行いました。また、ノロウィルス対応の為、ノロバケツなどの整備を行い、取り扱いを含め職員で共有しました。
- ・ 外出及び訪問時の事故防止の為、担当圏域内の交通危険個所を職員全体で共有し、事故防止に努めました。また、職員研修時、ケアプラザの事故対策フローチャートを確認し、適切な対応が出来るよう、周知徹底を図りました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 法人及びケアプラザの「個人情報保護に関する取扱い」に関して、利用者へ開示すると共に、職員研修を通じて、職員全体の意識を高め、個人情報保護の体制づくりに努めました。
- ・ 職員研修を通じて、個人情報の取り扱い、取得、保管などについて学び、日頃からの注意喚起に努めました。
- ・ 個人情報が記載された書類やデータの漏えい防止の為、適切な保管期間を定め、施錠できる棚及び倉庫での保管、データのパスワードロックを徹底し、漏えい防止に努めました。
- ・ 郵便、FAXなど取扱う際は、ダブルチェック及びマスキングを徹底し、個人情報漏えい防止に努めました。
- ・ 自主事業の申し込みなど、個人情報取得する際は、利用目的を明確にし、不要な個人情報の収集をせず、適切な利用に努めました。
- ・ 個人情報が記入された書類は、必ずシュレッダーを使用し、情報の漏えい防止に努めました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 指定管理業務に係る情報を積極的に公開するように努めました。受付カウンターに閲覧できるように、事業計画・事業報告・運営状況・運営規程・重要事項説明書・個人情報の取り扱い・介護サービス情報の公開など設置しました。また、ホームページの活用を行いました。
- ・ 居宅介護支援事業所は、サービス情報の公表制度を受け、結果が公表されています。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 職員向けに人権・権利擁護についての研修を行い、職員一人ひとりの人権に対する意識を高めていきました。
- ・ ケアプラザ内に人権啓発と権利用擁護に関するパンフレット等の配架やポスターの提示をし、啓発活動に取り組みました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 地域温暖化と電気節電対策を継続して取り組みを行いました。  
夏・冬のアコン温度設定の適正化、各部屋に節電協力依頼のシールを貼り、施設利用の方々にも協力を促しました。  
使用していない廊下や明るい日中には事務室など消灯するなど、節電に努め、毎月省エネのチェックリストにて点検をおこない、節電管理が出来ているかを確認しました。
- ・ 資源の有効活用への取り組みを行いました。
- ・ エコキャップ回収を行いました。  
エコキャップとは、提供協力者登録を行い、地域の方々にも協力していただき、ペットボトルのキャップを回収しワクチンを贈る費用として協力しました。
- ・ コピー用紙や封筒の再利用を積極的に行いました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

主任ケアマネジャー : 1名 (常勤兼務)  
看護師 : 1名 (常勤兼務)  
社会福祉士 : 1名 (常勤兼務)  
予防プランナー : 2名 (非常勤兼務)

#### 《目標》

- ・ 住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続していただけるように、介護予防の周知・啓蒙を最優先に取り組みます。
- ・ 地域の方々が福祉・保健・医療のそれぞれを正しく理解し、自らサービスを選択し安心して暮らして頂けるように支援します。
- ・ 要支援と認定された地域の高齢者に対して、自立した日常生活が営めるように、生きがいや自己実現のための取組が出来るようなプラン作成を目指します。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 
- 
- 

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
144	152	156	155	156	168
10月	11月	12月	1月	2月	3月
167	172	163	162	167	170

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：1名（常勤兼務）  
 主任ケアマネジャー：1名（常勤専従）  
 ケアマネジャー：2名（常勤専従）  
 “ ”：2名（非常勤兼務）

《目標》

- ◎利用者様が住み慣れた地で生活が維持できるよう支援することを目指しました。
- ◎利用者様の今までの生活背景を踏まえて、自立支援に向けたケアマネジメントの実践に取り組みました。
- ◎自立支援を目指すケアマネジメントとして、多職種、多機関の連携と地域における多種多様な社会資源の活用を実践しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ◎困難ケース支援の場合には、包括支援センター、行政との連携をとり支援方法を確認しました。
- ◎要介護状態となっても、今までの生活のスタイルを活かすことを主軸としたケアマネジメントを行いました。
- ◎独居、高齢者世帯の夫婦で認知症の診断を受けた方、生活保護の方など、また家族の支援が得られないケースを支援しました。
- ◎終末期（難病・がん等）の方の在宅生活を他職種との連携を行いながら支援しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
122	120	141	130	144	136
10月	11月	12月	1月	2月	3月
141	130	134	134	134	142

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・身近な福祉拠点として、総合相談の窓口であることを「もっと知って使ってケアプラザ」を配布して周知活動に努めました。芹が谷連合・永谷連合定例会の参加に加え、今年度はシルバークラブ、保健活動推進員の定例会などへ参加しました。また、ひまわりホルダーの周知活動を地域に出向いて行った際、相談窓口や包括支援センターの役割を説明しました。身近な福祉拠点であることを周知したことにより、今まで関わりのなかった住民の方から、「向かいの家の屋根と壁の塗り替えが悪徳業者ではないか心配」と相談があり、クーリングオフし代金の回収ができました。
- ・5職種と所長を含めた6名で、9:00から21:00まで相談を受けられるよう、職員体制を組みました。6名の誰もが継続の対応できるよう総合相談票をおこして情報の共有を行った結果、初回相談を受けた職員が不在の日曜日に、一人暮らしの本人から「転倒して動けない」と連絡が入った際、他の職員がすぐに訪問し、大事に至りませんでした。
- ・子育て支援「たんぽぽ」では、子どもの食育について相談を受け、幼稚園児を対象に「バケツ稲」を行い田植えから稲刈りまで体験したことでお米を残さなくなった」と感想をいただきました。また、「幼稚園の園服や小さくなった子供服はまだきれいでもったいない」という母親のつぶやきから、不要な人と必要な人を繋ぐ「お手軽リサイクル市」を開催したところ、大勢の参加があり、新メンバーの増加に繋がりました。また、ゴミの削減となり、エコの取組みとなりました。
- ・「要援護者の情報が欲しい」という自治会長と、地区の民生委員さんの個人情報保護の御苦勞から「個人情報の壁を低くするため」の勉強会を、講師を呼んで開催し、他区の取組みや「住民支えあいマップ」を紹介しました。区社協と連携し「住民支えあいマップ」が芹が谷町内会で広がり、地域の方もケアプラザも隣近所の情報を共有する効果を感じております。前出の自治会長も「うちでもやってみたい」と言われ、再度、同講師をお招きして勉強会を開催しました。
- ・精神医療センターと共催で地域向けの「精神病について」の講座を開催して、精神病の病気の種類と精神疾患を持つ方への対応について勉強を行いました。「精神病は怖いと思っていたけれど、うつ病など身近な病気なのね」「芹が谷は精神医療センターに近いから患者も多い。対応が分って良かった」と参加者から感想をいただきました。回数を重ねて、病気への偏見を払拭し、精神医療センターと地域の繋がりを作っていきたいと思います。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援体制整備事業も含む）

- ・包括3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの5人と所長で、5職種会議を毎月開催しました。各部署の進捗状況や計画を共有し、担当圏域の地域課題を出し合い、分析を行いました。個別ケースを抱える包括職員と、地域の資源を掌握し担い手と顔なじみになっている地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターが、一緒になって地域に出でいきました。
- ・5職種会議の中で担当圏域の人口や高齢化率、介護保険の申請率のデータをもとに、要支援者の分布を地図に落とし「見える化」のアイデアが出て、介護サービスの利用状況を地図に落としこむことを実施しています（包括マップ）。地図を完成させて協議体の中で、地域に提案をしていきたいと思います。
- ・住民支えあいマップを芹が谷町内会を中心に10回実施しました。個人情報の壁を低くする取組みとして開始しましたが、「見守り」の意識づけに繋がったり、心配なおうちの方が包括に繋がったり、小さい地域の特性が見えてきたりと多くの収穫がありました。芹が谷町内会から、玉輿町内会にも広がりました。

### 3 職員体制・育成

- ・生活支援体制整備事業の職員配置を含め、職員体制を適切に整えることに努めました。
- ・地域包括支援センターでは、ケアマネジャー紹介の際は、ホームページと一覧表を提示し、ご利用者に居宅介護支援事業所を選んでいただき、中立・公正を保ちました。
- ・居宅介護支援事業所では毎月、各サービス事業所の法人の利用率を確認しました。また、ご利用者にあった事業所をご利用者が選択できるように、ホームページを活用するよう、カンファレンスの際に職員間の意識統一を行いました。「医療に強い事業所」を目指して研修を受け、質の向上を行いました。
- ・包括ミーティング、居宅カンファレンスを毎週開催しています。
- ・年2回の個人面談を行って、年度初めに目標を確定し、振り返りを行いました。専門職としてどんな職員になりたいか、なっしてほしいか話し合いました。
- ・法人全体でリーダー育成のための管理者養成のマネジメント研修を半年間行い、終了しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域支援チーム会議を開催し、情報の共有、支援の方向性の確認を行いました。
- ・永谷地区は、支えあいネットワークを中心に3期計画のテーマに沿った話し合いを行っています。話し合った事を地域の方々へ情報発信する為、「支えあい通信」を準備中です。また、各自治会町内会の取り組みをより広める為、地区社協の広報（ともしび）を活用して、情報発信できるよう、編集会議等を通じて支援を行ないました。
- ・芹が谷地区は、テーマに沿って、支援チームの中で担当分けを行い、支援を行ないました。テーマ毎に意見交換会の企画や、来年度のお祭りでの関わり等、具体的な案が少しずつ形になってきました。
- ・芹が谷福祉ネットワーク定例会に毎回参加し、情報の共有を行いました。現在、1月の意見交換会に向けて推進中です。
- ・永谷たすけあい広場担当者会議に毎回出席し、進捗状況の共有、課題の検討等を行いました。拠点として「陽だまり」がオープンしました。スムーズな運営が出来るよう、各自治会町内会が当番制で窓口当番が出来るよう体制を整え、支援しました。

### 5 区行政との協働

- ・毎月、芹が谷連合・永谷連合両地区の支援チーム会議をそれぞれに開催し、地域の課題や強みを明確にし、支援方針の共有を図りました。また、毎月開催する事で、互いの業務や強みを知り、スムーズな地域支援を行なう事が出来ました。
- ・地域支援チーム会議を通じて、地域福祉保健計画の進捗状況を確認し、必要な支援や取り組みについて、各々の役割を明確にし、連携を図りながら推進する事が出来ました。
- ・地域支えあいネットワークや地域ケア会議等を、地域・行政・区社協・ケアプラザで協働で実施し、それぞれの立場から意見交換が出来ました。様々な立場から意見交換出来た事で、必要な支援や取り組みについて具体的に検討する事が出来ました。
- ・毎月、包括カンファレンスを開催し、個別ケースの共有を進め、専門性を活かした支援と、関係者全体のレベルアップに繋がりました。また、課題が複雑化しているケースや、緊急性のある困難ケース等、専門職同士で連携出来た事で、スムーズな対応、支援が出来ました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 定例会や住民支えあいマップ作り等で得た情報を5職種会議で共有しました。
- ・ 地域包括支援センターのケースをマッピングし、見える化をすすめました。(包括マップ)
- ・ 上記のマップなどから見えてきた情報と高齢化率や人口等のデータを重ね、課題分析を行い、ケアプラザとして課題の抽出をすすめました。
- ・ ケアプラザの貸館団体や地域で行っている団体などの情報提供として毎月発行している広報誌及びホームページで紹介し、団体などの活性化や周知をすすめました。
- ・ 貸館団体や、自主事業参加者の声を基に、自主事業を企画し、開催しました。(親子リトミックやバケツ稲等)

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館ルールの改正に伴い、説明会を実施しました。  
そこで改めてケアプラザの設置目的や、団体のあり方、ケアプラザ使用ルール等を周知、確認する事ができました。
- ・ 貸館団体交流会を兼ねた大掃除を行いました。多くの方に参加いただき、顔見知りになった事で、新たな団体同士の交流が出来ました。
- ・ 貸館団体の新たな活動の場として、ケアプラザ文化祭を活用して、貸館団体の発表の場の提供が出来ました。  
また、個人ボランティアによるコーヒー提供も出来た事で、新たな担い手の発掘に繋がりました。
- ・ 新たに夜間の体操教室が出来た事で、夜間の利用者数の増加に繋がりました。

### 3 自主企画事業

- ・ 芹が谷小学校個別支援級や、区社協、そよ風の家等と協力して、障がい児の放課後余暇について情報共有を行いました。  
放課後デイサービスの利用が増えている現状から、定期的な開催は難しいと判断しましたが、一方で、地域との繋がりの少なさが目立つことから、「なつっこ」を活用して地域との関係作りを進めました。
- ・ 港南区社会福祉協議会が行っている「なつっこ」を今年度も開催することが出来ました。調理プログラム、音楽療法プログラム等をボランティアと一緒に企画した事で、スムーズに開催することが出来ました。  
今年度は保護者と地域の民生委員との顔合わせ会を開催したことで、ご近所で顔見知りの関係が出来、日ごろからの見守り活動に繋がりました。
- ・ 個人情報研修を開催したことによって、個人情報を良く理解し、芹が谷町内会を中心に住民支えあいマップ活動を進める事が出来ました。  
地域の方が自分事として参加できたことで、新たな見守り活動を目的に「わんちゃん交流会」を町内会の活動として実施することが出来ました。  
地域が主体となって企画立案から、チラシの作成、投函等を行い、新たな担い手の発掘にも繋がりました。交流会後も継続的に見守り活動が行われており、ご近所同士の繋がりのきっかけにもなっています。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 下永谷地域ケアプラザと共催でシニアボランティア登録会を行い、新たな担い手を創出しました。
- ・ 区社会福祉協議会、区役所、学校コーディネーター、芹が谷南小学校地域防災拠点と連携して、6年生を対象に防災に関する講話を行いました。  
HUGを用いた体験をすることで、子ども達が防災を考えるきっかけになりました
- ・ ボランティアを募って、文化祭を活躍の場として活用しました。
- ・ 芹が谷団地で行っている「芹が谷サロン」の活動の場として、ケアプラザを利用し  
ていただき、送迎などサポートすることで、ボランティアが活動しやすい様、支援  
しました。
- ・ 黄金苑で行っているふれあい喫茶や、浩南台のサロン大学、芹が谷セントラルハイ  
ツのサロン、三和会主催食事会等へ訪問を行い、情報収集・共有を行いました。  
ひまわりホルダーの登録や、ケアプラザの周知活動を行い、利用者との顔の見える  
関係作りがすすみました。
- ・ 芹が谷・永谷両地区の福祉ネットワーク担当者会議に出席し、関係作りをすすめ、  
情報の共有を図ることが出来ました。

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- ・相談実績として、独身の子どもとの同居世帯の増加がみられています。地域とのつながりが希薄であることが多くみられています。  
また、虐待のリスクが高くなると判断したケースは区役所などと連携し、早期のアプローチを行いました。
- ・電話や民生委員、地域の方などの情報から、来所が難しいケースに関しては、訪問による相談対応を行いました。
- ・遠方から越してきたばかりの方の相談に対し、地域との繋がり作り、居場所の確保を目的に、元気作りステーションの情報提供を行い、参加に繋がりました。
- ・住民支え合いマップから上がったケースに対して、町内会長と連携し訪問を行い、繋がる事が出来、定期的な関わりが出来ました。
- ・ひまわりホルダーの導入に際し地域の定例会、老人会、体操教室に出向き、説明会と受付を行い、登録数の増加に繋がりました。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・町内会や民生委員などの地域支援者だけでなく、ボランティア関係者、医師や薬剤師などの医療従事者とのネットワークをつくり、地域支援の多様性を図りました。
- ・薬剤師との連携強化、地域への情報提供を目的にさくら薬局との共催事業を開催しました。
- ・地域ケア会議の課題を参加者にとって身近と思えるものに設定したことで活発な議論がみられ、自分事として次につなげていくことができました。
- ・住民支え合いマップを通じて、狭い地域における特性を知り、強みを知るとともに、新たな担い手づくりの検討（わんちゃん交流会）をすすめることができました。

### 実態把握

- ・相談内容の分析や要支援者のサービス利用状況（通所介護のみ利用、訪問介護のみ利用、通所介護/訪問介護の両方利用、福祉用具貸与の利用 と、利用状況毎にマッピング）をマッピングしていくことで、地域課題の導きや強みの根拠づけをすすめていきました。それにより、地域ごとの特性が見えてきました。
- ・住民支え合いマップや地域課題の分析などから地域の強みを把握していくとともに、自分事となる様、働きかけを行いました。
- ・後期高齢者の割合や、独身の子どもとの同居世帯など将来的なリスクの把握をすすめていきました。その中で、より支援が必要なエリアに対して、出前講座で介護予防講座を開催する事に繋がりました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ・行政書士の個別相談会を3回行い成年後見制度や権利擁護の普及啓発を行いました。
- ・司法書士を招き成年後見制度や権利擁護の普及啓発を行いました
- ・孤独死を減らすための見守りの必要性を地域の方と共有する為に遺品整理の専門家を講師に招き講座を開催しました。
- ・精神科の病気について偏見や差別、誤解が生まないように県立精神医療センターと共催講座で精神科の医師と看護師を講師に「精神科の病気について」を開催しました。

### 高齢者虐待

- ・「介護者サロンほっと」は講座を交えながら毎月行いました。家族の定期的な居場所の一つとして活用出来ました。
- ・社会福祉分科会で介護事業者、ケアマネ向けに虐待の講座を行いました。
- ・介護者に負担があるケースでは虐待予防の為にケアマネジャーと連携を密にしました。

### 認知症

- ・小学生向け認知症サポーター養成講座を開催し、定例化に繋がりました。
- ・9月に若年性認知症のつどいを港南中央ケアプラザで開催しました。また、この会をきっかけに当事者と家族の会の旅行に同伴し、直接的な支援を行ないました。
- ・認知症予防や軽度認知症の方の参加の場として「せりがや虹の会」の後方支援を行いました。少しずつ、自分達で運営できるようになり、現在では、毎回30名以上の参加に繋がっています。
- ・より身近な場所で認知症予防が行なえるよう、地域と共催で東芹が谷町内会で3月に認知症予防講座を開催しました。
- ・当事者と家族の会の集まりに参加し、情報収集を行い、支援を行ないました。
- ・区役所と連携し、認知症初期集中支援チームとして、訪問・支援を行ないました。
- ・より多くの方に、認知症の方の実態を知っていただく為、キャラバンメイトの講演会で講話が出来るよう、区役所と連携し支援しました。

## 3 介護予防マネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- ・自らが持つ力を活かしていくことを目標とし、今できないことができるようになるためにはどのようにしたらいいかという視点で支援を行いました。
- ・委託先事業所と連携を密にして、介護保険だけでなく、ボランティア（福祉ネットワークや民生イン等）なども含めた生活支援の提供を行いました。特に夫婦のどちらかが要介護認定というケースも多く、負担からの不適切介護にならないように区役所も含めた支援を行いました。
- ・福祉ネットワークの活用を通じて、サービスの提供だけでなく、地域とのつながりの再開が図れるように支援を行いました。
- ・インフォーマルサービスの活用として、ケアプラザの自主事業（芹力アップやサタデーモーニングカフェ、芹が谷虹の会など）に繋げ、地域の中で自立して生活出来るよう、継続的な支援、見守りにつなげました。
- ・介護予防業務に関する研修会を近隣のケアマネジャー向けに東永谷ケアプラザ、下永谷ケアプラザと連携して担当し開催予定です。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・住民支え合いマップや包括ケースのマッピングなどから現在の地域の見える化を行いました。
- ・対応の難しい事例ではなく、分母の多い一般的と思えるケースを地域ケア会議の議題として取りあげることで、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、福祉ネットワークなどそれぞれの立場で自分事となるようにすすめていきました。
- ・できていないことに対する支援だけでなく、なぜできない状況にあるのかに視点を置いた支援をすすめていくようにケアマネジャーに対する働きかけを行いました。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ・協力医による講演会を「ロコモティブシンドローム」と「ヒートショック」をテーマに2回、開催しました。また、県立精神医療センター、さくら薬局など地域の医療機関による講演会を開催し、ケアマネジャーと医療従事者との連携の強化を図りました。
- ・地域ケア会議に医師や港南区在宅医療相談室などにも参加していただき、同じ事例に対する様々な視点を持つことや、相談しやすい関係づくりの支援を行いました。
- ・医福ネットの開催支援を行い、介護と医療従事者の連携の場をつくりました。ひとつのテーマについて検討する場を持つことで支援力の強化につなげていきました。

##### ケアマネジャー支援

- ・協力医や県立精神医療センター、薬局などの講演会にケアマネジャーだけでなく、民生委員や地域住民の方と一緒に参加することで、連携の機会とするとともに、地域の声を聞く場を作ることができました。
- ・港南区ケアマネ連絡会やケアマネサロンを通じて支援力の強化を図るとともに、事例検討会などを通じて、スキルアップだけでなく、内面的課題の整理にもつなげていきました。
- ・新任ケアマネジャー研修を実施することで、根拠をもとにした支援ができるように働きかけ、ボトムアップを図ることができました。

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・住民支え合いマップや地域ケア会議、包括ケースのサービス利用状況マッピングなどをもとに地域課題を分析し、今現在の状況を把握していくとともに、将来のケアについての検討をすすめました。
- ・高齢化率を、前期高齢者と後期高齢者に分けて分析していくことで、地域支援者と短期的予測の共有を図れました。
- ・地域ケア会議を事例検討の形ではなく、事例をもとにした検討形式にしたことで幅広く意見交換と今後の展開を話すことができました。

## 5 介護予防事業

### 介護予防事業

- ・ 5月～6月にケアプラザで介護予防普及強化事業「輝く明日をめざして」を1コース・4回実施し修了した方が既存の自主化グループに参加し継続しています。また11月～12月には2回目の介護予防普及啓発事業を浩南台町内会館で実施しました。
- ・ 包括マッピングを基に身近な場所で支援が必要と思われる東芹が谷エリアを中心に「ロコモ体操・個別相談会」を4回（3町内会館）で、1月～2月に実施しました。
- ・ 認知症予防の講演会を3月に東芹が谷町内会館で実施しました。
- ・ パワーリハビリを使った「芹カアップ教室」を年3回行い、修了者は3組の自主グループを立ち上げ、又既存のグループに参加しました。
- ・ ウォーキング教室終了後、既存のグループ（芹が谷ウォーク）に参加し、継続的な介護予防に繋がっています
- ・ 芹が谷虹の会等で、ボランティアによる運営が定着し、新たな担い手の確保、参加者の増加に繋がりました。

## 6、生活支援体制整備事業

- ・ 区社協協力のもと、5職種連携して住民支えあいマップを行う事が出来ました。地域の役員や所謂世話焼きさんと協働で進めた事で、地域住民が自分事として捉える事が出来、課題、強みの共有が出来ました。また、ケアプラザとして、小さなエリアでの把握を進める事が出来ました。
- ・ 住民支えあいマップを5職種で連携して進めた事で、地域課題を共有する事が出来、アセスメントシートの見直し、作成を行う事が出来ました。更に、包括ケースのサービス利用状況を落とし込んだ、包括マップを随時更新中で、更に細かなニーズ把握とエリア毎の特徴の整理を進めています。
- ・ 5職種で連携して、体操教室や茶話会などの地域活動に積極的に関わりを持ちました。これまで以上に、密に関わりを持ち、地域資源リストの更新を進めるだけでなく、それぞれの活動や団体との関係が密になり、困り事などの相談が増え、新たな支援につなげる事が出来ました。
- ・ 住民支えあいマップ活動をきっかけに行なわれた「わんちゃん交流会」の事務局として、場所の検討や、講師の調整、開催周知などを通じて支援する事が出来ました。住民が主体となって、運営できたことで、見守りの必要性を自分事として感じ、新たな担い手の確保にも繋がりました。  
また、町内会館から遠方の1丁目で、住民同士の交流を目的に、定例清掃後に永谷地区地域ボランティアの拠点である「陽だまり」を活用して、交流会を企画する事が出来ました。専門職として、地域の繋がり必要性などのアドバイスや「陽だまり」との仲介を通じた支援をする事が出来ました。
- ・ 5職種、地域支援チーム、近隣ケアプラザと連携し、地域の話し合いの場・検討の場（地域支えあいネットワーク、芹が谷福祉ネットワーク交流会、永谷たすけあい広場連絡会、ながいもの会、芹が谷地域福祉保健計画のテーマ毎連絡会など）を地域福祉保健計画に沿って開催する事が出来るよう支援しました。既存の場を活用し、話し合いが出来た事で、参加者が自分事として捉える事が出来、より具体的な話し合いが出来ました。また、自分事として話し合いが出来た事で、地福計画を具体的に推進するきっかけになりました。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：芹が谷地域ケアプラ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18522	23387	151					5789
	介護保険収入				9428	27184			
	その他	441	127	0	0	649			0
	介護予防ケアマネジメント費								
	雑収益 他	441	127			149			
	要介護認定調査					500			
	<b>収入合計(A)</b>	<b>18963</b>	<b>23514</b>	<b>151</b>	<b>9428</b>	<b>27833</b>			<b>5789</b>
支出	人件費	9448	26306	0	1120	23954			5341
	事務費	3417	1108	0	128	1181			
	事業費	792	223	151	0	0			5
	管理費	4073	1083	0	22	52			
	その他	931	318	0	3746	4			0
	介護予防プラン作成委託料				3746				
	修繕費	168	45			4			
	運営協議会経費	7							
	協力医謝金		273						
	消費税	756							
	<b>支出合計(B)</b>	<b>18661</b>	<b>29038</b>	<b>151</b>	<b>5016</b>	<b>25191</b>			<b>5346</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>302</b>	<b>-5524</b>	<b>0</b>	<b>4412</b>	<b>2642</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>443</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ドレミファクラブ	どなたでも	110,000	46,500	63,500	110,000	0	0
	20名						
	500円						
芹カアップ	概ね60歳以上	597,953	283,953	314,000	0	0	機器リース料 597,953
	10名/1回						
	200円						
サタデーモーニングカフェ	どなたでも	60,658	19,008	41,650	0	60,658	0
	約20名						
	50円						
親子で育むバケツ稲教室	小学生未満の親子	3,031	3,031	0	0	3,031	0
	10組						
	0						
ウォーキング教室	概ね60歳以上	30,800	30,800	0	0	30,800	0
	約20名						
	0						
親子リトミック	未就園児	40,477	4,477	36,000	36,000	4,477	0
	12名						
	3000円/6回						
未就学児の遊び場たんぽぽ	未就学児	958	958	0	0	958	0
	10組						
	0						
Theケアプラ文化祭	どなたでも	10,005	2,605	7,400		10,005	
	0						
こうなんなつっこ	小1から高3の障害児者	26,896	19,396	7,500	0	26,896	0
	8名						
	2500円						
芹が谷地域ケアプラザ祭り	どなたでも	51,458	29,358	22,100	0	51,458	0
	0						
年末大掃除	貸館団体	3,049	3,049	0	0	3,049	0
	0						
ひまわりホルダー	65歳以上	80,122	23,622	56,500	0	80,122	0
	300						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
俳画教室	自主化し、参加者同士で運営されていたものの、参加者が減ってしまい活動が出来なくなってしまった事から、支援していく事となる。メンバー同士の連携も良く、自主的になっているものの、メンバーが高齢化している事から、参加出来なくなってしまった事もあり、広報や場所の確保等で支援を行い、新たなメンバーの確保、新たな活動場所の開拓を行い、自主化出来るよう支援する。	毎月第4水曜日/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミファクラブ	6回コース終了後、定期的な教室として開催。打楽器等を使って、頭と体を使った認知症予防プログラムや、誰でも楽しめる発語療法を1.5Hの内容で行っている。幅広く利用いただく目的で、未就学児と母親に参加頂き、発語音楽療法プログラムも並行して実施しました。	毎月第1木曜日/12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サタデーモーニングカフェ	毎週土曜日の朝、9:00~11:30の間、気楽に参加でき、コーヒーや紅茶を楽しみながら音楽を聴いたり、おしゃべりを楽しんだりできる場をつくり、自然発生的なコミュニティに育てる目的で実施。芹が谷小学校の生徒がボランティアで参加し、折り紙を教え合う等交流が図れている。また、12月には、芹が谷中学校の生徒会がボランティア参加、個別支援級の生徒が演奏会を開いたり、世代間交流の場としても活用できていました。	毎週土曜日/41回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康囲碁	準備から指導などに至るまで、貸館利用者が主体的に実施しており、徐々に地域の方の参加が増えている。その中で、貸館利用の際にも参加がみられ、交流が徐々に進んでいる。回数を重ねるにつれ、職員との交流も進み、ケアプラザへの理解がみられ始めている。今後、これ以外の活動にも興味を持っていただけるよう、様々な活動を紹介し、地域人になれるよう目指していきました。	毎月第1・3・5火曜日/27回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
未就学児の遊び場たんぽぽ	毎週水曜日、9:30～多目的室を未就学児の遊び場として開放。必ず職員が入り、絵本の読み聞かせや手遊びを通じて交流を図っている。また、用紙によるアンケートと直接話をさせていただき、どのような事業を期待するか等ニーズの発掘を行っている。尚、交流を図る中で、孤立していたり問題を抱えている父母がいらっしゃった際、包括と連携し、早期対応を行っています。地域で活動しているボランティアの活動場所の一つとして、活用していただいている。毎月第1水曜日に参加いただき、スキルアップだけでなく地域ニーズの発掘を行う事で、普段の活動に活かしていただいている。また、定期的にボランティアと交流を持ち、活動が滞ってしまわないよう、サポートします。	毎週水曜日/46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で育むバケツ稲教室	ケアプラザの駐車スペースを活用し、水やりなどは子供達を中心に、保護者と一緒に行いました。若い世代がケアプラザに来ることにより、若い世代へのケアプラザの認知度、周知度の向上に繋がりました。また、子供たちに育てることの大変さ、食の大切さを教育する目的もあります。定期的な集まりの場だけでなく、収穫するまでに雑草抜きや水位の管理など行なってもらいました。	6月・8月・12月/ 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のお気軽リサイクル	使わなくなった洋服、本、玩具などを展示し、ほしいものを持って帰って頂く。使わなくなったからと言って捨ててしまうのではなく、必要としている方にもう一度使っていただくことにより物の大切さ、エコ活動にもつながると考えられます。当日の展示数は300を超え、大いににぎわいました。また、次の世代へつなげる事で、保護者同士の縦の関係づくりのきっかけになり、相談しあえる関係作りも進める事が出来ました。	5月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
住民支えあいマップ	芹が谷町内会1丁目、2丁目を中心に、民生委員、ご近所の方にご参加いただき、1件1件、互いに知っている情報を出し合い、共有を行いました。小さなエリアで行う事で、ご近所同士の知らなかった事、知っている事を把握した事で、参加者それぞれが地域の状況を把握し、主体的に意見交換する事が出来た。また、出てきた情報として、犬を飼っている家庭が多いという事で、散歩等を通じて、繋がり作りや、新たな見守り活動のきっかけになればと、交流会を企画しました。	4月～3月/9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
芹力アップ教室	全6回コースとして開催。効果を体感した事で、自主化もスムーズに行う事が出来、新たな活動団体が出来ました。また、参加前は外出が億劫だった方が「ここに来るのが楽しみ」と、表情もとても柔らかくなった様子も見られます。卒業クラスは、代表を中心に、定期的な活動に繋がっており、健康作り・生き甲斐づくりの場になっています。また、新たな卒業生の受け皿にもなり、新たな仲間作りのきっかけになっています。	4月～3月/303回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんちゃん交流会	芹が谷地区にあるペットサロン「クロスワン」に講師依頼し、開催しました。 お散歩時のマナー等の話だけでなく、防災拠点委員長から防災拠点での過ごし方等について周知し、改めて災害に対する準備を考えるきっかけになりました。 また、住民支えあいマップの取り組み報告とケアプラザの役割周知を行い、日頃の見守り活動の協力を賛同いただきました。	7月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生向け認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座の資料を使い、小学生・保護者それぞれに、講話。これまでの体験等も交えて、意見交換を行い、これから、自分達で出来る事を考え、感想を発表するという流れで開催。「親子で考えるきっかけになった」「学校でみんなに教えたい」といった声が聞かれ、継続して開催して欲しいという声も多数あり。今後も引き続き計画予定です。	7月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうなんなっこ	地域のボランティアを中心に、カレー・ナンの調理プログラム、音楽療法を行い、8名参加。 今年度より、説明会・顔合わせ会をケアプラザを会場として行った事で、参加者本人が「どんな場所で行うのか」「どんな内容をするのか」等のイメージが出来、安心してプログラムに参加出来ました。 一方で、平日に説明会とプログラムを行っている事から、保護者の参加が難しいとの声も聞かれていますので、今後の課題の一つです。 また、民生委員との顔合わせ会を並行して開催した事で、地域に帰ってからの繋がりのおかげになりました。	8月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子ども自習室	夏休み子ども達の居場所、勉強場所として開催。 小学生だけでなく、中学生も利用があり、徐々に定着してきています。	7月～8月/20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子リトミック	全6回コースで9月から12月までで行いました。 親子でリトミックをすることで子供の集中力、表現力を養うことができるといわれており、親子の絆を結ぶ。 また、子育てで悩みを聞くなど未就園児を育てている親の支えにもなると思われます。 「定成音楽教室」を講師をとって迎えています。	9月～12月/6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Theケアプラ文化祭	貸館団体の発表会、芹が谷中学校美術部作品展示、NPO法人フラワーロード、ひばりが丘学園による手作り品販売を行った。当日は地域の方々に協力いただき手淹れコーヒー販売を実施。とても好評で、負担も少なく、新たなボランティア活動として今後生かしていく予定です。	11月/1回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬のリサイクル市	出品数430点超、来館者数は24名でした。 当日は消費生活推進委員と協力し、区役所にあるリサイクル伝言板の広報活動、アンケート調査を行いました。 年2回のリサイクル市として少しずつ、参加者数、出品数も増え、定着した事業になってきています。	12月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末大掃除	日頃貸館利用している団体に協力いただき、大掃除を開催。 (20団体が参加) ある程度、同じ部屋を利用している団体同士で清掃の担当を分けた事で、知りあうきっかけにもなった。清掃後、交流会を行った事で、互いの活動を知知りあったり、活動日の調整等を各々行ったりと、新たな関係作りも進める事が出来ました。	12月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館説明会	29年度の貸館ルール変更に基づき、現在、利用いただいている団体を対象に説明会を開催しました。確実に各団体に伝えられるよう、3日間設定し対応しました。 質疑応答も多く、個別に対応した事で、継続登録がスムーズに行えました。	12月/3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
芹が谷地域ケアプラザ祭り	国際親善総合病院病院長による「がん」についての講演を行いました。満席になるほどの好評。 昨年に引き続き、地域の方に協力を頂き、未就学児を対象としたミニSL試乗会を開催。又、同部屋にてバルーンアートの体験会とスタンプラリーも開催。子ども達を対象としたイベントを充実させたことで、若い世代の参加増に繋がりました。 施設内だけでなく、隣接の公園を活用して、地域の方々の協力をいただき、お汁粉の販売を行った。公園に遊びに来ていた子ども達が片付けのお手伝いを率先して行う等、世代間交流のきっかけにもなりました。	2月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知りたい子供と大人の発達障害	出品数430点超、来館者数は24名でした。 当日は消費生活推進委員と協力し、区役所にあるリサイクル伝言板の広報活動、アンケート調査を行いました。 年2回のリサイクル市として少しずつ、参加者数、出品数も増え、定着した事業になってきています。	3月/3回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者サロン 「ほっと」	介護をされている方が、孤立し問題を抱え込んでしまわないよう、同じ立場の人同士で、交流を図っていただき、安心できる場所づくりを目指す。また、勉強会方式を取り入れ、介護をしている中で、困ったことの解決につなげる。	毎月/各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ご近所茶話会	地域の方を対象に、協力医との連携も兼ねて「健康をテーマ」にしたお茶会を開催。気軽に聞ける/話せる雰囲気づくりを重視し、包括職員が間に入りながら行う。また、これをきっかけに、ケアプラザを知っていただけるような場としても活用している。	毎月/各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
現場は語る！地域の見守りの支援の大切さ	昨年民生員から孤独死の報告が複数あり地域の見守りについて課題があがりました。遺品整理の業者を呼び、孤独死現場の話し、経験からの見守りのヒントが得られるのではないかと思います、民生委員、老人会の担当者、地域住民を対象に講座を行いました。	6月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング教室 ～効果的な歩き方～	健康づくりを目的とし、全2回で行う。日ごろから運動をしていくことを促し介護予防、健康寿命を延ばすことを目的としている。また、持続してもらうために一人でウォーキングするのは寂しいという人には「芹が谷ウォーク」の歩こう会にも参加していただき、つながりづくりのきっかけにもなる。	毎月/2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
住民支えあいマップ	地域の繋がりや、課題を抱える家庭の把握、新たな担い手の発掘を目的に、町内の班や組等、小さな単位でエリアを分け、地図上に各世帯の情報をマッピングしました。	毎月/2回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神医療センターってなあに？精神科の病気について	県立精神医療センターと精神科の病気について偏見や差別が無いように理解を深めるため。また芹が谷地域ケアプラザと県立精神医療センターの顔の見える関係を築くために開催。	9月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士相談会	成年後見制度や遺言、相続などに関する相談会を通し、ニーズの掘り起こしと権利擁護の啓発を行う。また、専門組織と共催することで、ネットワークを強化することを狙いとする。	9月・12月/2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症港南区のつどい「みなとみな」	9 ケアプラザ共催で港南区内の若年性認知症の方と家族を対象にピアカウンセリングとサービスに繋がっていない方の掘り起こしを目的として開催	9月・2月/2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やさしい相続教室「介護・相続でもめない損をしない」	司法書士、税理士を講師に招き、地域の方を対象としました。将来相続でもめない、介護や福祉の手続きで悩まないための講座と個別相談会。	10月/1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者が安心して暮らせるためのお役立ち講座	行政書士による高齢者が権利侵害に遭わないためのクーリングオフ制度、成年後見制度、相続・遺言の講座	3月/2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわりホルダー	29年度から港南区9 ケアプラザが各包括エリアを対象に実施している取り組みです。 登録希望者にホルダー及びマグネットを活用し、いざという時のお守りとして、活用いただいています。 芹が谷ケアプラザは、坂の上という立地の為、登録への負担感が生じる事から、体操教室や食事会等へ出張説明会・登録会を行い、多くの方に知っていただくきっかけとなりました。	10月～